研究分野	授業科目名	科目責任者
組織培養・免疫系分野	感染症病態制御学研究	大石　智洋

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（1）感染症の病態について科学的に仮説を立てて立証する
（2）感染症の各病原体の特徴を理解する。

授業到達目標

（1）感染症の病態を理解し，感染症の診療時に疑問点を抽出できる。
（2）感染症の最新のエビデンスの集積ができる。
（3）感染症のエビデンスの評価ができる。
（4）感染症の研究における統計方法の意味を理解し，各群の必要症例数が分かる。
（5）感染症薬の臨床試験において倫理的な配慮ができる。
（6）感染症症例の臨床データを解析し，評価できる。
（7）感染症の研究に必要な最新の分子生化学的手法などを駆使して解析できる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月	15:00 - 16:00	大石　智洋	感染症の研究に必要な基礎科学的事項
毎週	火	13:00 - 14:00	大石　智洋	感染症に対する免疫学について（予防接種含む）
毎週	木	15:00 - 16:00	大石　智洋	感染症の診断について（検査を除く）
毎週	金	15:00 - 16:00	大石　智洋	感染症の治療について（抗菌薬を中心に）

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1）１週間ごとの実験内容報告に対して，形成的に指導と助言を行う。
（2）中間発表の抄録作成時に指導と助言を行う。

教科書

ISBN-9784521742601，予防接種コンシェルジュ ： 現場で役立つワクチン接種の実践法，中野貴司編著，中山書店，2015

参考書

ISBN-9780323376921，Feigin and Cherry's textbook of pediatric infectious diseases (8th Edition)，James D. Cherry, et al.，Elsevier SAUNDERS，2018
ISBN-9784307170741，ワクチンと予防接種のすべて（第３版），尾内一信　他，金原出版，2019

準備学習（予習・復習等）

（1）実験前に，教科書・参考書等を読み，約１時間程度の予習を行う。
（2）毎週，履修手帳に実験計画・内容を簡潔に記載する。
（3）実験終了後，その日のうちにデータを記録し，提出する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（1）関連する課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を習熟する。
（2）卓越した研究成果をあげ，感染症学の深い学識を獲得する。
（3）学術研究が国民からの信頼，負託に応えるものであることを理解し，高い倫理観を身につける。

注意事項・メッセージ

感染症学は幅広い分野に関連するので広い視野が身につきますので，是非，頑張って取り組んでください。